

令和5年度「子や孫が誇れる持続可能な町づくり」住民説明会
アンケート結果・質疑応答

- 開催日時 2月13日（火）－17日（土）午後7時－8時30分
- 開催場所 住吉字、田皆字、下城字、知名字、上平川字の公民館

※（1）－（5）の単位：人

（1）参加された会場（字公民館）

| 住吉字 | 田皆字 | 下城字 | 知名字 | 上平川字 | 計 |
|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| 20 | 30 | 7 | 28 | 25 | 110 |

（2）あなたの年代

| 20代以下 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 | 計 |
|-------|-----|-----|-----|-------|-----|
| 0 | 3 | 11 | 27 | 68 | 109 |

（3）説明会の内容

| 理解できた | 普通 | 理解できなかった | 計 |
|-------|----|----------|-----|
| 81 | 24 | 1 | 106 |

（4）資料の内容

| 有益であった | 普通 | 有益でなかった | 計 |
|--------|----|---------|-----|
| 70 | 31 | 2 | 103 |

（5）説明会の時間

| 長い | ちょうどいい | 短い | 計 |
|----|--------|----|-----|
| 5 | 101 | 2 | 108 |

- 上記の（3）－（5）の評価について、理由がありましたらお書きください。
 - ・1人1問ではなく、2～3問にしてほしい。
 - ・資料にない内容が説明されたような気がする。

- ・説明の容量に対して時間がちょうどいいように感じました。
- ・島のためにいろいろ考えて、先進的なシステムを導入しようとしているのがすごいなと思った。いろいろ勉強になり、興味のある話だったので時間も早く感じた。
- ・説明したことが全部できるのか不安である。
- ・ページが変わる時にどのページか言ってほしかった。P2.温室効果ガス排出の実績の円グラフの色と前の画面と色がちがったので、町長の黄色の部分との説明の時とまどった。
- ・図面と説明を聞いてよく理解できました。ありがとうございました。将来明るい話（停電と水道）が聞けてありがたいです。
- ・町長が直節話をされていてよかった。
- ・町長の話がうまくて、とても楽しく聞くことができた。町の今後が楽しみ。
- ・ワット数などを民家何軒分、何日分のような形で示してもらえるとより分かりやすいかもしれません。
- ・町が伝えたいことは分かりました。（メリットの部分）
- ・二酸化炭素について大げさな表現があった。0.04%
- ・理科の授業の用に分かりやすかった。
- ・内容を理解していたので長く感じた。地元の人が少なかった。
- ・最適な説明でした。
- ・DGR など重要な設備へのわかりやすい説明がない
- ・庁舎が出来るのを楽しみにしています。
- ・非常に頑張っていると思います。

●今回の説明会に対する感想・要望をご自由にお書きください。

- ・納得のいく説明でよく将来計画が分かりました。
- ・ありがとうございました。
- ・時期（農繁期）を外してほしい。
- ・庁舎の工事や脱炭素のことが詳しく聞けて良かった。
- ・大きな事業として3つあるのが分かりました。ただ、今までの紆余曲折的な内容もあれば、さらに理解が深められるかな？と思いました。
- ・たいへん勉強になりました。一町民として協力できることは積極的に取り組んできたいと思いました。（庁舎の完成も非常に楽しみです。）
- ・木、草等をカットして有機肥料できる機械の導入は出来ないのか。資源リサイクルの徹底。
- ・下水道のことはどうなっているか知りたい。近所の方が洗濯した後、風呂の水がそのまま流れているような気がします。

- ・全国に先駆けて脱炭素に向けて各方面で着目していただき生活しやすい島に向かっていることが大変ありがたく思いました。
- ・現代的に工夫されていたのでよかった。
- ・もう少し具体的な話が良かった。水道料金の負担金、電気代等。
- ・説明書類の内容が分かりやすくていねいで良かった。知名町の未来が他町にもないアイデアで計画し作成されており職員の皆様の努力の跡が見えた。職員の努力が町長の要望に近づいてきている。
- ・それぞれの世代、人によりニーズは異なるかもしれませんが、今回のようにできる所から取り組んでいくことは大切だと感じました。
- ・各家庭に配水される水道管も新しいものになるのでしょうか。
- ・町民とディベートする機会があると良い。
- ・年1回は町民と語る会を実施して、意見交換をしてほしい。その方が協力体制が強化されると考えます。
- ・準備等お疲れ様です。
- ・AIを使用して人員を減らして効率化をはかってほしい。
- ・水道水高度低減化事業により一日も早く軟水がほしいです。
- ・できましたら、字単位で実施できたらと思う。
- ・年に一回は実施してほしい。
- ・一般家庭への徹底した周知
- ・遅くまでご苦勞様でした。今後も頑張ってください。
- ・人工燃料導入を検討お願いしたい。保育園、学校給食、医療の無償化したら移住者が増えると思う。0~15歳まで。
- ・年1回の住民説明会は必要と思います。
- ・説明がややこしく一般の人には退屈だ。
- ・ライドシェア 町体、武道館 大山 空港の移動 町会議員の削減 キビ価格 空き家の件よろしく願います。少子化対策も
- ・若い方の参加比率が少なく感じた。
- ・労働人口世代からまちづくりに関心を持ってもらえるように、行政と議会で取り組んでいただきたい。"
- ・概ね良かったと思うが質問が少なかったのは残念でした
- ・内容、時間ともに最適でした。
- ・これからもちなの為に頑張ってください。
- ・微力ながら応援します。
- ・今井町長が説明から質疑への回答のほとんどを行っていたが、冒頭の挨拶において大まかなことは町長が説明し、各項目の内容については担当部署の課長が説明や回

答する方が良かったのではないのでしょうか？

●会場での質疑応答（要約） 後日回答としたものを含めて記載しています。

※質疑は上段、回答は矢印（→）以降となります。

※要望については、回答を記載しておりません。

・新庁舎に行くようなバスはあるのか。

→新庁舎にバス停を設けることとしている。

・太陽光発電と蓄電池を設置する予定であるが、補助はないか。

→町では実施はしていないが、国において太陽光発電と蓄電池をセットで設置した場合、5年度においては補助がある。国のホームページをご確認いただきたい。

・大津勘のビーチロックが、台風が来るたびにサイクリングロードに砂が打ちあがっている。建設課が浜に返しているが、砂が少なくなっている。砂が打ちあがらないような対策はできないか。（要望）

・水道水の硬度低減化の運用開始が令和9年度から運用となっているが、住吉地区は令和5年度に配管工事が終わるようだが、もっと早くにできないか。

→硬度低減化をするためには、大山に建屋を立ててEDRという機械を入れなければならない。6年度に各配水池の改造をしなければならない。それが終われば、上城のやや高度の低い水を送ることができるものと思われる。

・EV化が進められているが、中国やアメリカ、ドイツではEV車に対する補助金が打ち切られているなど、EV化の熱が冷めてきている。これらの影響を受けずに町の事業を続けていくことはできるのか。

→部品供給の問題等でプラグインハイブリッド方式に戻ろうという雰囲気はあるが、今日本の自動車メーカーが本腰を入れてEV化を進めている。

・EVバイクの取組を進めているが、学校にどの程度の充電拠点を置くのか。また、EVバイクや電気自動車が故障した場合、島内の整備工場に対応ができるのか。

→整備士の確保については、各整備工場がそれに対応できるように動いている。

高校の充電設備については、6年度に奄美群島振興開発事業を活用し整備する予定。

・EV化を進めれば脱炭素につながるのか。受電するために電気を使う。再生可能エ

エネルギーを使わなければ脱炭素にはつながらないのでは。

→現在、フローラルホテルではEV自動車等をレンタルしている。その電気は、ホテルの前の風力発電の電気で賄っている。

・台風で停電した場合、水道設備を上城に置くことになっているが、地震等で被害ある場合を想定して、もう1か所予備として置く必要はないのか。

→久志検の水源地を予備として確保することとしている。

・水道水の硬度低減化後の水道料金はどうなるのか。

→具体的な金額についてはまだ精査が必要であるが、およそ500円から1,500円の間になると思われる。正確な数字はまだ申し上げられない。

・現在想定しているマイクログリッド内で停電した場合、その分を賄うためには、どのくらいの太陽光発電機や風力発電、蓄電池の土地（広さ）が必要となるか。

→現在予定しているのが、おきえらぶ文化ホールあしびの郷・ちなの屋根とそのとなりの民有地、沖永良部農業水利事業所の前の舗装されていない箇所、新庁舎の駐車場（2段目、3段目）に設置するカーポートの部分で賄えると想定している。

・それで3日分は賄えるということか。

→おおまかに3日程度と考えている。

・新庁舎にヘリポートを設置するという話がどうなっているか。

→以前、あしびの郷・ちなの駐車場を使用していたが、周辺の住民の方に負担をかけていたことから、現在は知名漁港を使用している。

・オフグリッドではなくマイクログリッドにした理由は。

→可能な限り自家消費を行うこととしているが、天候により電気が足りなくなることもある。また、安定的な電気を使用するために、発電所から最低限使用しなければならぬ電気の量が決まっていることから、オングリッドを採用している。

・現在のマイクログリッドは大きな地区（役場付近の公共施設）で進められているが、各家庭にも導入する計画があるのか。

→現在は、町の公共施設で試しているが、これがしっかりできるようであれば、民間の事業所、最終的には個人宅でも行えるように計画をしている。

・町内をよく散歩をするが、道路脇などに休憩所を設置することはできないか。

→令和6年度に県の魅力ある観光地づくり事業を活用して、サイクリングする方など

が休憩できる場所を設置することを計画している。

- ・マイナンバーカードを利用して、島外で住民票を取得しようとしたが、知名町が登録されていなかった。マイナンバーカードを使用してできることをシステム化してほしい。(要望)
- ・町のホームページを毎月閲覧しているが、内容が古いものや各課のページで情報ないものもある。更新してほしい。
→議会でも同様の指摘を受けている。各課には情報の更新を行うよう指示をしている。近いうちにホームページのリニューアルを検討している。
- ・20年後の知名町はどういう町になっているのか。年をとってバス停まで行けるのか、病気が心配なので、病院の近くに引っ越しした方がいいのか…。町として未来が見えるような絵が欲しい。
→その地域の皆さんが住み慣れたところでいつまでも安心して暮らしていけるように、今日説明した事業を推進していきます。
- ・今の庁舎はどうなるのか。
→まちづくり町民会議において、役場庁舎を含めて遊休不動産について話し合いを行っている。
- ・新庁舎は何年もつか。
→100年もつ設計となっている。
- ・太陽光パネルや電気自動車を導入することによる先々の採算を示した資料はあるか。
→具体的な資料は現在のところありません。
- ・水道水の硬度低減化事業が8年度までとなっているが、事業費と財源はどうなっているか。
→現在は正確な金額は言えませんが、十数億から20億円程度かかる。財源は、当初国の補助がなかったが、令和5年度に2分の1を補助されることになった。これとあわせて起債を充てる。
- ・知名町の農業施策があまり見えない。ほかの地域では新たな取組で農業生産を上げる取組や新規就農者を増やす取組を行っている。これらのことをしないと人口を維

持できないのではないか。

→新規就農者対策としては、例年、県の事業を活用して4、5名の就農者がいる。作物については、枝豆を新規作物として推奨している。かぼちゃなどの取組も行われている。

・新庁舎の駐車場の使用方法について決まりがあるのか。来年度、各種団体の補助金が削減されるという話を聞いているが、なぜ補助金を削減するのか。

→普段町民がどのくらい来庁しているのかを把握しており、現在利用いただいている程度の駐車スペースは確保している。

補助金については、一律に削減しているのではなく、繰越金の多い少ないによって決めている。

・集落のなかの（青年などの）団体が減ってきており、地域の活力が落ちてきているが、集落を活性化させる手立てはあるのか。

→字の役員のなり手がいないことや人口の減少で、字の行事に対する負担感が大きくなってきている。このことから、区長や役員がする仕事を可視化する取組を（今年度）知名字と住吉字で行っている。さらにスマートフォンのアプリを使って、字の情報を伝える取組も行っている。

・人口減少に対する取組に力を入れて欲しい。

→こどもを産み、育てやすい環境をつくりために、出産祝金や今年から高校まで医療費の無償化に取り組んでいる。子育てをしやすいまちをつくることで人口減少に対し手を打っている。大事なことは、いま住んでいる人が住み続けていくために町も取組を行うが、字とそこに住む皆さんにおいてもどうしていきべきかを考えて欲しい。

・有事に対して、自衛隊と米軍が合同で訓練を行っており、石垣島でも避難訓練を実施しているが、町として避難訓練を実施する予定はないか。

→令和6年度において、国・県と共同で国民保護に関する実働・図上訓練を実施する計画としている。

・国民保護に対する自治体及び議会の動きが遅れていると感じられる。取組を進めてほしい。（要望）

・公共住宅、民間住宅が市街地に集中している。田水団地の建て替えに向けた取組が進められているが、小学校区の公共住宅の戸数等を考慮し、公共住宅の分散化をお

願いたい。(要望)

- ・マイナンバーカードの普及率は。また、先日あった携帯電話の講習会の何割の人が参加したのか、今後も継続していくのか。災害時の安否確認の方法は。

→現在の交付率は 87%です。

スマートフォン講座の受講者数は、本年度延べ 74 名です。講座は今後も続けていく予定です。

災害時の安否確認については、民生委員の協力を得て、避難が必要な方の名簿を作成しており、災害時には区長、民生委員、消防団でその情報を共有し避難を呼びかけています。

- ・廃屋になってる空家を撤去する資金を何らかの補助事業で捻出できないか。台風時等に近隣への被害が心配される。

→知名町危険空家等解体撤去事業補助金交付要綱の対象建築物に該当する場合、50 万円を上限に解体に係る費用を助成しています。

- ・離島割引カードの大きさを普通のカードのサイズにできないか。カード入れに入らない。

→今年 4 月の発行からキャッシュカード等と同じサイズになります。

- ・島ムニを残すために月に 1.2 回島ムニを使う日を設けてみてはどうか？

島ムニ大会をするよりも身近で島ムニを使うことで島ムニ普及の効果が出るのではないかと思います

→知名町コミュニティづくり推進協議会では、毎月 18 日を方言の日と定め周知を行っています。